

## 第2回東京都緩和医療研究会に参加して

平成26年10月12日(日)、慶應義塾大学病院緩和ケアセンターセンター長の橋口さおり先生を大会長として第2回東京都緩和医療研究会が開催され、当院からは有賀教授、赤垣看護師、私が参加した。この会は東京における緩和ケアの地域連携を考えるために立ち上がり、第1回は有賀教授が大会長で帝京大学が主催している。



今回は第一部で東京都における地域連携の現状というテーマです。すでに東京の中で地域連携をリードしている多職種の先生方の講演があった。ホームホスピスを軌道に乗せている訪問看護ステーションは一との富岡先生、そして区西部緩和ケア推進事業について紹介された橋口大会長の講演が特に印象的であった。第二部では2つの症例を通して地域連携が話し合われた。緩和ケア病棟の在院期間が短期となる(急性期化)が起きている現状を考えるきっかけとなった一例と、連携がうまくいかず、主治医不在となり、意志決定方針決定に苦慮した一例が紹介された。

大会長メッセージにもあるように、東京には多くの施設と多くの緩和ケア医がおり、連携のむずかしさを感じる面が少なくありませんが、だからこそ可能な連携があるようにも思えます。

第3回は国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援研究部の加藤雅志先生を大会長とし来年開催される予定です。この研究会がさらに発展していくことを願っています。

大澤岳史

### 第2回東京都緩和医療研究会

日時：平成26年10月12日(日)13:00~17:00

場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール

大会長：橋口 さおり (慶應義塾大学病院緩和ケアセンターセンター長)

会費：会員 2000円 非会員 3500円

### つながろう！東京都

\* 巨大な地方都市 東京都。多くの施設があり、それぞれが質の高い緩和ケアを提供できる可能性を持ちながら、連携を取れていないために、お互いが持てる力を発揮できていないのは、とても残念なことです。東京都における連携を一緒に考えてみましょう！

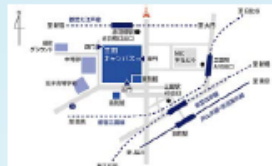
内容：

#### 第1部 東京都の地域連携の現状 (パネルディスカッション)

地域連携に関わる様々な施設や職種(医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、MSW)によるプレゼンテーションとディスカッションを予定しています。

#### 第2部 症例検討

症例報告と討論



- 交通アクセス
- ・田町駅(JR山手線/16系深草北線)徒歩5分
- ・三田駅(都営地下鉄有楽町線/都営地下鉄三田線)徒歩7分
- ・赤羽橋駅(都営地下鉄大江戸線)徒歩8分

【お問い合わせ】  
〒150-8512 東京都新宿区信濃町10-3  
慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター内  
Tel: 03-3383-3308  
Mail: be-nse-kenkyukai@uminac.jp

後援：日本緩和医療学会・日本緩和医療薬学会